



# 教育支援ニュース

No.3



## 小学校4年生出前授業「いろいろな電池」 ～嶺北地区での取り組み～



今回は福井チームが嶺北地区の小学校で実施した「いろいろな電池」の出前授業について紹介します。4年生の理科「電流のはたらき」という単元にあわせた内容で、様々な実験を通して、電池の仕組みや歴史、新しい電池などについて学びます。



実験の道具は個別に準備しています。先生方から「全員が実験に参加できてとてもありがたい」と好評をいただいています。

他にも、水槽を使った『ボルタ電池』や、スプーンとフォークを使った電池の演示実験もあり、45分間で6つの実験を行うとても盛りだくさんな内容になっています。



今後も、様々な体験を通して子どもたちが理科に興味を持ち、楽しく学習ができるお手伝いができればと思います。

『レモン電池』をはじめ、備長炭を使った『木炭電池』、両手に金属板を握って自分自身が電池になる『人間電池』、今後の活躍が期待されている新しい電池『マグネシウム電池』と、次々に実験を行っていきます。



レモン電池を作ってみよう



人間も電池になる！？

スプーンやフォークで電池を作ってみよう



### 【令和5年度 実施校】(9月末時点)

- ・ 福井市 2校 4クラス 108名
- ・ 永平寺町 5校 5クラス 71名
- ・ 越前市 4校 5クラス 113名
- ・ 越前町 1校 1クラス 7名
- ・ 勝山市 1校 1クラス 27名
- ・ 鯖江市 1校 1クラス 14名

★全て小学校4年生



### 児童の感想(授業後のアンケートより)

色々な物から電池ができると分かったので、家でやってみたいと思いました。夏休みに自由研究で調べてやってみたいです。

